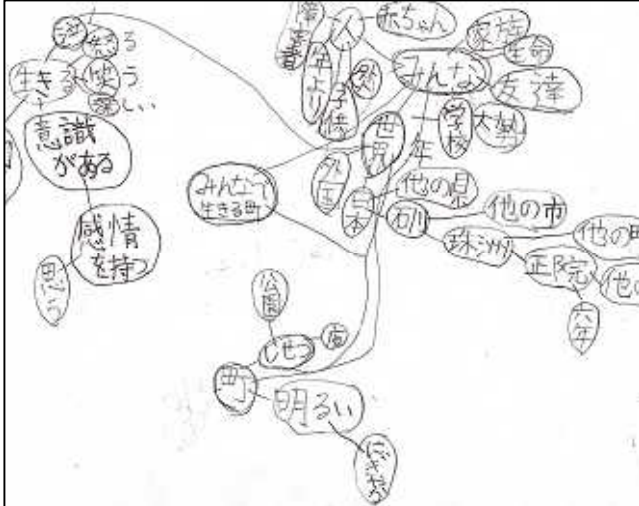


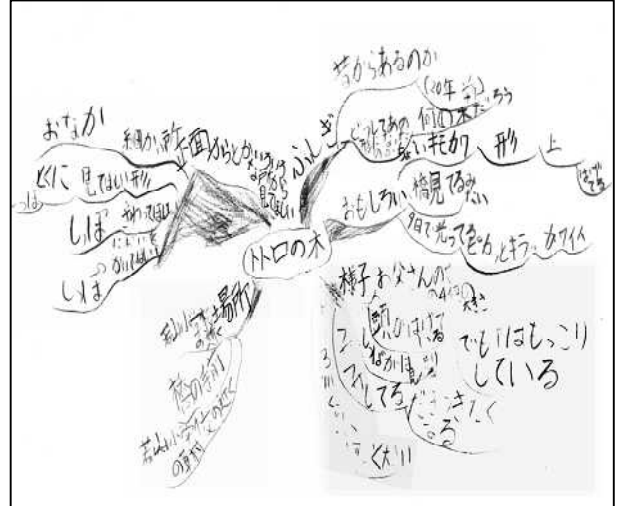
## B - 9 マインドマップ

「活学力」を育むためには、言語力を育てなければならない。言語に関する能力を高めるためには、記録、要約、説明、論述といった学習活動に取り組む必要がある。本校では、言語力を高めるために「マインドマップ」を導入し、ノートを書くようにしている。マインドマップを使った実践例を紹介する。

### 発想する際の、道具・手段としての利用

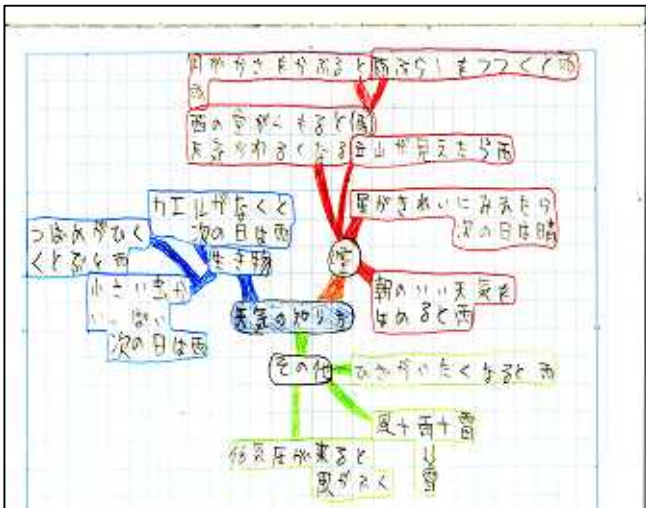


「みんなで生きる町」という題名から発想するキーワードをマップにまとめ、自分の課題を作った。



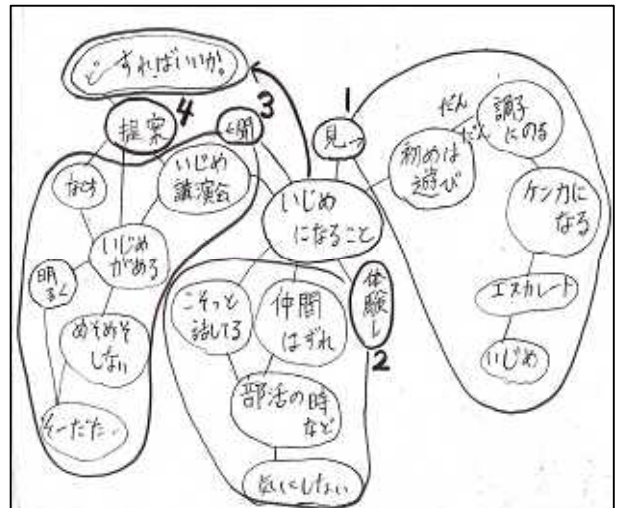
「トトロの木」からイメージする言葉をつなぎ合わせ、それをもとに作文を書いた。

### 調べたことをまとめるためとして利用



理科「天気をどのように知るか」という課題で、出てきた言葉を分類した。

### 話の構成を考える



なかよし会議において、話すことの順序や大事なことを落とさないようにスピーチメモを作って話した。

このように、覚える力・考える力・整理する力・長文や小論文がかける力を目指した。県基礎学力調査聞き取り問題において、自らマインドマップを使用し、話のキーワードをまとめる児童が多かったことから、児童自身が、マインドマップの良さを実感し、抵抗なく書くようになってきた。

